

さくら

2022

春日号



2022年4月撮影(特別養護老人ホームさくらホーム)

理事長挨拶

社会福祉法人 さくら福祉会

理事長 佐藤 正視

日頃より、さくら福祉会をご利用頂きまして、誠に有難うございます。行政はじめ、地域の皆様、お取引先様には、格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年に入り、数力所の介護予防センター、特別養護老人ホームなどで、新型コロナウイルス感染症が発生し、ご心配とご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。

令和4年4月、フィリピンの介護における特定技能の在留資格を持つ6名が入職いたしました。令和2年1月にリモートによる面接を行いました。政府による新型コロナウイルスの水際対策で入国が大幅に遅れておりました。現在では、フィリピンのEPA経済連携、中国やベトナムの技能実習生など、多くの海外の方も職員として働くようになりました。今後も、色々な方面からの採用を検討しております。

ご利用者様へ更なる良いサービスを提供できるよう、これまで以上に、地域に開かれ、地域に愛され信頼される福祉を目指してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さくらホーム山形



風のさわやかな季節を迎え桜の花も咲きそろい心躍る春となりました。皆様には常日頃、私もさくらホーム山形の運営・諸活動につきまして多大なる御支援、御協力を頂きまして心から感謝申し上げます。

おかげさまで本年、開設10年となりました。開設当時は2011年3月11日の混乱の極みにありました。その渦中、関係各位の昼夜を問わぬ献身的な御尽力により予定通り2012年4月1日に開設することができました。

翻って今日の私たちを取り巻く環境も新型コロナウイルス発生以来、感染第6波にまで至り断続的に拡大しており大変厳しい状況にあり未だ終息の兆しが見通せません。全国的に介護老人福祉施設の集団感染も多数報道されております。幸いにも当施設は皆様のワクチン接種をはじめとする面会制限等の多大なる御協力の賜物によりその脅威を逃れ続けております。



す。皆様には引き続きとはなりますが、一日も早く語らい・ふれあいの場が取り戻せるようまた、ご利用者様には春夏秋冬季節の移ろいを実感できるように職員一同努めてまいりますので、ご理解ご協力賜りたく存じます。

明るい話題といたしましては、一昨年からベトナムの技能実習生3名が介護現場の職員に加わり彼女たちのもつ天性の明るさがご利用者様から大変好評をいただいております。

昨年8月には実習生寮さくらハウスが完成し、日本での生活にも慣れ日本語の上達も顕著で誰からも親しまれる職員となりました。

今後さらに仲間が増える予定で、笑顔の輪が広がり光明を見いだす一翼を担えればと思います。

先行きがつかめない時代ではございますが、皆様の日々の御多幸を祈念し挨拶とさせて頂きます。

さくら山形



現在、介護予防センターさくら山形では新型コロナウイルスの感染再拡大の影響下により感染予防対策の徹底をしております。ご利用者様ご家族様にはサービスご利用に際しまして大変ご不便な思いをさせていることと存じます。

本来は気軽に立ち寄っていただけのような交流の場であるべきですが、ご利用者様に感染させないために職員の感染対策は勿論のこと、感染源を持ち込まない・持ち込ませないための最大限の努力をしておりますので、どうか今しばらくご理解とご協力をお願い致します。

また、利用を控えるか迷われるご利用者様もいらっしゃると思います。が、安全にご利用頂けるよう努めておりますので、是非ともご利用して頂けたら幸いです。

社会環境も時々刻々と大きく変化をして人生100年時代と言われる



中で、介護施設を取り巻く環境は厳しさを増しています。その中で私たちは質の高い福祉サービスを安定して継続的に提供することが求められています。今年度も地域に根差し、ご利用者様の尊厳を重んじ、寄り添い、共に生活を送れる施設づくりを目指します。

そのためには全職員がご利用者様ご家族様地域の方々・職員同士と確かな信頼関係を構築して居心地の良い温かい施設・社会インフラ・職場としての役割を担えるよう、環境整備に日々努めていきたいと思っております。

また、介護施設において一日も早くクローズドな状況が解消してオープンな新しい日常が訪れることを祈念しております。

今後とも皆様には介護予防センターさくら山形へのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

さくらホーム広野



皆様には、日頃より施設運営につきまして、ご支援ご協力を賜り大変感謝を申し上げます。新型コロナウイルスが全国的に発生し、気が休まらない状況となっています。当施設では令和4年2月と3月にご利用者様、職員が3回目のコロナワクチン接種を実施しました。今後もマスク着用、手洗い消毒、換気、3密の回避等感染対策を万全に行っていきたいと思っております。ご家族様におかれましては、面会制限などの感染対策にご理解をお願い申し上げます。早々に感染が収束し、穏やかな日常が戻りますようお願いいたします。



渡し、一緒に写真撮影を行って、とても良い笑顔がみられました。1月は新年を迎えて、おとそを振る舞いました。「甘酒うめのー、もう一杯」とおかわりをされるご利用者様もいて、和やかな時間を過ごしました。

2月の節分では、大きな声は控えて「福は内、鬼は外」とご利用者様と一緒に豆まきを行いました。今年も無病息災を願い、コロナウイルス感染症の収束や災害のない年であってほしいと思います。厳しい環境の中でも、楽しみを見出して、穏やかで和やかな生活や文化を感じて頂けるように今後も行事を行っていきたいと思っております。

最後に、ご利用者様、ご家族様の声をしっかりと受け止め、安心して施設生活が送れるように支援していきたいと思っております。

さくら広野



日頃より介護予防センターさくら広野の運営にあたり、多大なご支援を賜り感謝申し上げます。

長く厳しい冬を経て、ようやく春うららかな季節を迎えましたが、コロナウイルス感染症は丸二年が経過した現在も終息には至らず、マスクなしの生活にもどるまでは今しばらく時間がかかるようです。特に昨年度は庄内地区での感染拡大もあり、身近なところでも事例が寄せられるなど、身をもつて感染症対策の重要性とその難しさを痛感した年でもありました。各種制限を設けるなかで、関係者の皆様には何かとご不便をおかけしたかと存じます。その節は大変申し訳ございませんでした。

家庭での体調管理や施設入り口での検温・手洗いうがいの声掛けをスタッフ全員で徹底しながら、ご利用者様の健康と安全の両立を目指していきたいと思っております。引き続きご利用者様にはマスク着用と黙食へのご協力をお願い申し上げます。

依然外出イベントに制限がある分、せめて日々のレクリエーションには季節感のあるものを取り入れたいと考えております。写真にある桜の吊るし飾りもそのひとつであり、花紙にグラデーションをつけることで色鮮やかな花びらを表現しました。

「来年こそは本物のお花見ができるといいね」と、一緒に願いを込めながら作った吊るし飾り。ぜひとも成就しますように。



特別養護老人ホーム

さくらホーム



皆様には、日頃よりさくらホームの運営に関し、ご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

厳しい冬が過ぎ、ようやく心地良い春を迎えました。しかし新型コロナウイルスの影響は、まだまだ留まることを知らず、緊張の毎日が続いているのが現状です。当初は、高齢者の感染予防が重要と言われていたが、今や、保育園・学校等、年代を問わず感染の拡大が懸念されます。

さくらホームでは、ご利用者様、職員共に3回目のワクチン接種を1月から2月にかけて終了しましたが、油断せずに引き続き感染予防に努めていきたいと思えます。また、ご家族様及び関係機関の皆様には、面会制限が長引いている事に対して、大変ご迷惑をおかけしており申し訳なく

思っております。何卒ご理解頂き、今しばらくご協力をお願いいたします。

このような厳しい状況の中ではありますが、感染の落ち着いた頃を考慮し、感染対策をしっかりと行つた上で、ボランティアの方々をお招きしました。11月に琴の演奏会、12月に保育園児による歌や踊りが披露され、ご利用者様の沢山の笑顔を拝見でき、職員も日々の緊張が解れ、ほっとできるひと時を過ごすことができました。

まだまだコロナ感染の終息は遠いようですが、少しでも多くご利用者様の笑顔を引き出せるよう、職員一同精一杯のお手伝いをさせて頂きまして、今後ともよろしく願ひいたします。



特別養護老人ホーム

さくらホーム天童



春の暖かさを感じる季節となりました。春日頃より御支援、御協力を賜り大変感謝申し上げます。

新型コロナウイルスによる生活様式への影響に職員一同適応しつつ、ご利用者様がその人らしく生活していくことが出来るよう日々工夫を凝らし業務に取り組んでおります。ご家族様を始め関係者の皆様には感染拡大防止に努めていくため、対面方式での面会の制限や各行事や企画の規模縮小等の対応の継続をさせていただきます。事を御了承ください。

さくらホーム天童では、フロアを越えたレクリエーションや外出の企画などが難しい中、感染拡大防止に十分に配慮し規模を縮小してユニット毎でお祭りを催しました。ペットボトルボウリング、魚釣り等ご利用者様に楽しんでいただくため各ユ

ニットで意見を出し合い、ユニット毎の特色が現れた活気のあるお祭りとなりました。また、焼きそばや芋煮、ケーキといった日頃なかなか口に出来ないメニューも提供し、笑顔も溢れて特別な時間を過ごしていただけたのではないかと思います。令和4年度では更に楽しんで過ごしていただきたいと思ひます。

日本全国での新型コロナウイルスによる閉塞感も少しずつ薄れてきている印象を感じつつあります。さくらホーム天童では、より一層気を引き締めご利用者様の安心と安全を守る為、感染拡大に十分に留意し業務に邁進してまいります。今後とも変わらぬ御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さくらホーム天童では、フロアを越えたレクリエーションや外出の企画などが難しい中、感染拡大防止に十分に配慮し規模を縮小してユニット毎でお祭りを催しました。ペットボトルボウリング、魚釣り等ご利用者様に楽しんでいただくため各ユ



短期入所生活介護事業所 さくらの里

日頃よりご利用者様、ご家族様をはじめ、地域の皆様、関係機関の方々の温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

短期入所生活介護事業所さくらの里は、定員30名のショートステイ専門の施設です。皆様に支えられ今年で14年目を迎える事ができました。

ショートステイは直訳で「短く泊まる」を意味し、短期間の宿泊をしながら介護サービスを受けられます。介護者の方の入院や冠婚葬祭、熱中症やヒートショックを防ぐ避暑または越冬利用、施設入所待ちの間の長期利用など、ご利用者様、ご家族様の目的に合わせた利用が可能です。

お部屋は全室個室で、テレビ完備。バリアフリーかつ家庭的な雰囲気ので安心して過ごしていただける環境作りを心掛けています。

日中は顔なじみのご利用者様や



スタッフと共用スペースで過ごしたり、お部屋で裁縫や手芸など趣味



の時間を楽しんだり、窓からの景色を楽しみながら施設内を散歩したり、自分のペースに合わせた生活が可能です。新型コロナウイルス感染症予防の為に、現在は規模を縮小していますが、誕生日にはみんなでお祝いしたり、季節に合わせた行事や外出等も実施しています。

ご利用者様がその人らしく生活し、笑顔で過ごされることをどこまでも支援していただけるよう、スタッフ一丸となって頑張りたいと思います。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

スタッフからの 情報発信

さくらホーム天童に勤めて二年目になります。福田奈津美と申します。ご利用者様には、某演歌歌手と同じ苗字で覚えて頂く事が多いようです。

一言で介護と言っても、沢山のご利用者様と関わっていく中で、幅広い知識と技術の必要性を実感し、何年経っても毎日が勉強です。

以前、業務中にご利用者様との何気ない会話の中で「身体が痒くてね」「ご飯の時よく咽るのよ」と様々な悩み相談になる事がありました。そして後日「あの時話して良かったわ」と声を掛けられたのです。私は話を聞いていただけと思っ

ていた事が、そのご利用者様にとっては悩みが一つ解消された瞬間だったようです。それを聞いて、日常の中にある「心の安心」の大切さを強く思う印象的な出来事でした。

まだまだ未熟で至らない点が多々あるかと思いますが、「この人が居て良かった」と思ってもらえるスタッフになれるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願

特別養護老人ホーム
さくらホーム天童

介護員

福田 奈津美



さくらししぴ

苺のムース

苺にはビタミンCが豊富に含まれており、数粒食べれば1日分の必要量を充足できるとも言われているほです。ビタミンCには風邪予防・美肌・整腸などの効果がありますが、水に溶けやすい性質を持つため、水にさらしすぎないように工夫すると効率よくビタミンCを摂取することができます。

実際に施設で提供し、ご利用者様に好評だった苺ムースのレシピを紹介します。是非ご賞味下さい。

◆作り方◆

- ① 生クリームを5分立てにする（持ち上げたときに、跡がすぐに消えるくらい）
 - ② ゼラチンはお湯に入れてふやかしておく
 - ③ いちごをすり潰し、レモン汁・砂糖を混ぜ合わせる
※ここで少量を取っておき、トッピングに使用しても良いですね
 - ④ ②のゼラチンも加えてさらに混ぜ合わせる
 - ⑤ ①に④を加えて混ぜ合わせる
- ⑤を型に流し入れ、冷蔵庫で3時間ほど冷やし固めて完成

材料(6個分)1人分 約180kcal

- ・いちご 200g
- ・レモン汁 小さじ2~3
- ・砂糖 60g
- ・生クリーム 200ml
- ・ゼラチン 5g
- ・水(ゼラチンをふやかす) 大さじ2



新入職員紹介

特別養護老人ホーム

さくらホーム

介護員 渡部 友樹



介護員として時には他の職員の方からも力を借り、知識を深めながらご利用者様の生活を支えていける人材になりたいです。

特別養護老人ホーム

さくらホーム広野

介護員 藤原 仁



一緒に働く上司や先輩方のご指導ご鞭撻の元、1日も早くご利用者様にお力添えできるよう、職務に励んでいきます。よろしくお願いします。

特別養護老人ホーム

さくらホーム天童

介護員 稲村 昭平



特別養護老人ホームでの勤務は初めてですが、これまでの経験を活かして頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

介護予防センター

さくら山形

機能訓練指導員 安達 俊太郎



病院勤務が長く不安もありますが、ご利用者様に笑顔をお届けられる職員を目指して頑張ります。これから宜しくお願い致します。

ありがとうございました

令和3年11月〜令和4年4月

★金品・物品寄贈(順不同)

寺岡 久之 様

阿蘇食品株式会社 様

村山市立葉山中学校 様

★ボランティア

箏林会 様

松山里音会 様

松山保育園 様

スタッフ募集中

施設見学及び様々な相談にも対応します。お気軽にご相談ください。

あとがき

広報さくら春号をご覧頂きありがとうございます。

年度が替わり、職員の異動や入職と新しい仲間を迎え、各施設より一層のサービス向上に努めております。新型コロナウイルス感染症予防の為、行事の規模縮小が続いておりますが、その中でもご利用者様に四季を感じ、楽しみをもって生活して頂けるよう、取り組んでいきたいと思っています。

当法人へのご意見、ご要望などがございましたら、ぜひお聞かせ下さい。

社会福祉法人 さくら福祉会

〒999-6851 山形県酒田市中牧田字丸福171番地 TEL.0234-62-2941 FAX.0234-61-4016
http://www.sakura-welfare.jp/ E-mail@sakurahome-soudan@sakura-welfare.jp

Sakura
Fukushikai

発行日/令和4年5月1日